うるわし通信

一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091　奈良県桜井市
桜井1259エルトさくらい内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL：http://lets.some.jp
E-mail:lets@some.jp

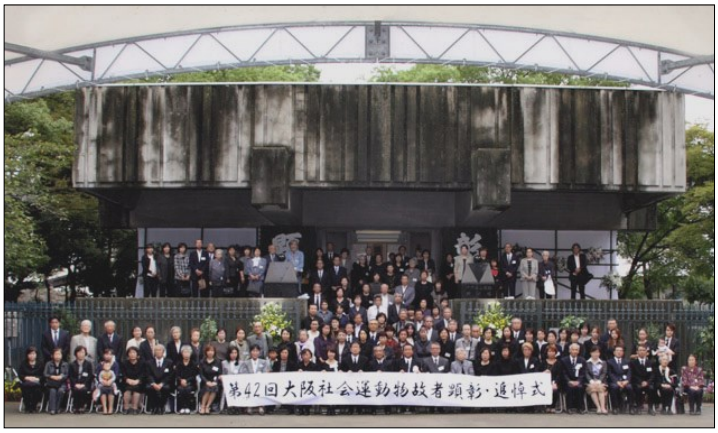
平成27年11月

村嶋歸之(むらしまよりゆき)さんのこと

村嶋歸之（むらしまよりゆき)さんは、1891年(明治24年)11月20日、桜井市(当時は十市郡桜井町)に生まれました。父は瀧口帰一(よりかず)この人は1898年3月の衆議院選挙に立憲自由党から出馬し当選。以来、2期5年間、中央政界の人であった。歸之は1898年桜井尋常小学校へ入学。父の東京生活に伴い、学校を転々とするが、1902年、桜井高等小学校へ転学している。

歸之が母、志賀の実家の村嶋姓を名乗るのは早稲田大学政治経済学科を卒業する直前のようである。学生時代から社会問題に関心があった歸之の選んだ道は、大阪毎日新聞社の記者であった。

桜井出身で文筆によって名高い人に、保田與重郎がいる。保田は歸之より19年後の生まれで、日本文化の根源を稲の文化ととらえた。稲穂をまつることに始まる日本文化を、常に天皇の神性へと帰納する保田の思考は天皇制国家擁護に結びついて行ったが、歸之は稲穂が米となって社会へ出現した後の分配の不公平に視点をあてた。近代化する大都会の裏町で人間性を奪われ、米飯を口にすることもできず、辛うじて生きている貧困者がこんなに大勢いる。ということに歸之の文筆は向かった。ジャーナリズムの良き時代でもあった。その活躍は、『大阪社会運動顕彰者事跡録』にあきらかである。以下、事跡録より。



社会運動物故者顕彰追悼式 (大阪産業労働資料館より)

「(村嶋歸之は)社会運動に強い関心を注ぎ報道を続けた。1919年賀川賀川豊彦の指導で友愛会に関西労働同盟会が結成されると推されて理事(後に顧問)、川崎造船所争議の「嘆願書」書き上げやサボタージュの指導で活躍。1921年、大阪労働学校創設構想の中心メンバーのひとりで労働運動史、職業婦人論などを講じた。同年10月、杉山元治郎が賀川豊彦を訪ね農民組合づくりを語り合ったことを記事にし、全国に反響を巻き起こして、日農創立呼びかけ人のひとりに加わる。日農結成大会で理事。労働者劇団や女給同盟の結成なども。戦後は賀川と湘南の地に「平和学園」を設立して学園長となり、「自分を厳しく律し、自分のことよりも他人のことを考えることのできるやさしさ」を育てた。(後略)」1965年1月13日没。『村嶋歸之選集全5巻』ほか著書多数。

1970年、大阪城の一角に「大阪社会運動顕彰塔」が建立されるや、村嶋歸之は第1回の顕彰者に選ばれた。同時に選ばれた人に水平社運動の西光万吉。松本治一郎。住民運動の逸見直造。労働運動の鈴木文治。社会運動の賀川豊彦など社会運動の黎明期の人がいて、毎年10月15日、顕彰・追悼式が営まれていることを付記します。

浅川 肇

うるわしの桜井をつくる会の今後の活動について

10月24日と25日の両日、「うるわしの桜井をつくる会」の今後をめぐって意見自由交換会を行いました。それに先立ち以下のような実績報告がありました。

【総会と公開イベント】

◇平成22年3月14日（日）設立総会　場所　まほろばセンター
公開シンポジュウム「～とりもどそう生きる力～ 地域に吹き込む新しい力」

◇平成23年6月12日(土)第１回総会　場所　まほろばセンター
公開シンポジュウム「三輪山の風景街道をつくる」

◇平成24年6月24日(土)第2回総会　場所　桜井市立図書館
公開講演会「万葉恋歌」井上 さやか 氏
ビデオ報告「太安麻呂と古事記」多神社 多宮司
座談会「記紀万葉プロジェクト～桜井の取り組み～」

堀井良殿会長

◇平成25年6月23日(土)　第3回総会　場所　纒向小学校講堂
公開講演会「卑弥呼の時代」寺澤 薫 氏(纒向学研究センター長)
纒向遺跡見学会

纒向遺跡見学会

◇平成26年6月14日(土)　第4回総会　場所　あるぼ～る
公開講演会「聖徳太子の心を想う古代の要・桜井の地と人々」
甲斐 弓子 氏（帝塚山大学考古学研究所特別研究員）

◇平成27年6月13日(土)　第5回総会　場所　あるぼ～る
公開講演会「まちづくりに関する包括協定IN 桜井市」林 功 氏(桜井市理事)

【主な活動】

①産廃処分場埋め立て関連
奈良県産業廃棄物対策課と数回にわたり、産廃処分場の埋め立ての現状と将来の対策について市民の声を県に伝え誠意ある対応を、早急に確立するよう強く要望。処分場終了後の安全確保や維持管理の課題について、周辺自治連絡会と連携して取り組み、新協定の締結に尽力した。

②うるわし通信の発行
第１号　平成23年7月10日発行　会員間の情報交換と意思疎通をはかる。
外部への情報発進。現在第52号(平成27年10月10日)発行済
平成25年4月10日　臨時特集として「追悼　芝房治さん逝く」を発行

③部会の主催・共催・協力事業
平成23年9月26日　福祉部会主催「児童虐待防止シンポジウム」の開催
平成24年1月20日　文化部会共催「大阪府教育条例案から見える教育改革のすがた」
講師　朝日新聞社　西見 誠一 氏
平成26年7月17日　文化部会協力「大飯原発再稼働差し止め裁判勝訴の意義を考える報告会」
報告者　福井から原発を止める会事務局長　松田 正 氏

④「桜井市協働推進会議」への参加

当会から7名が桜井市協働推進会議委員に委嘱され、協同推進指針策定に参加して積極的な提言をした。(平成23年9月20日から24年2月20日まで延べ6回開催)

⑤桜井市景観計画策定委員会への参加

当会から船谷氏が委員に委嘱され、延べ4回の委員会で積極的な提言をする。

⑥踏切拡幅工事の取り組み

市道慈恩寺～桜井線の踏切（辻本書店前）の拡幅関連で、市役所・地権者・JRに改善を求める。

⑦松井市長との対談～松井市長と明日の桜井を語る～

堀井会長、髙瀬、井上、栄島、船谷、中尾、植村が参加

⑧纏向遺跡モニュメント設置の提案

桜井駅北口広場に纏向遺跡の1/3模型を設置し、観光客を誘導することにより駅前活化をはかることを提案。

松井市長との対談

⑨桜井記紀万葉プロジェクト推進協議会の立上げ

桜井市・桜井市観光協会・うるわしの桜井をつくる会の３者が母体となって立ち上げ協働の基礎をつくる。（平成24年5月17日に発足）

⑩上新電機上ノ庄店進出への取り組み

周辺の景観に配慮した店舗の必要性を要請、延べ4回同店と交渉を重ね、最終的に上新電機副社長と会い、三輪山の景観に相応しい色彩にした店づくりをすることで合意した。

⑪「桜井市民活動交流拠点運営協議会」への参加

拠点の整備を桜井市に申し入れ、場所の確保、常駐職員の確保に取り組む。交渉の結果第1研修室が交流拠点として開設された。

⑫相撲神社「勝利の聖建立」イベント

記紀万葉プロジェクトに提案、平成25年7月7日に巻向地区の相撲神社に地元地区と相撲協会の協力を得て、「野見宿禰の碑」を建立する。

勝利の聖(相撲神社)

⑬市民活動交流拠点運営支援事業の受託

桜井市より「市民活動交流支援事業～奈良県緊急雇用創出事業(地域人づくり事業)」を受託し、エルト桜井内の交流拠点に2名を常駐させる。（平成26年5月1日～27年3月31日）

⑭桜井記紀万葉歌碑原書展開催への参加

実行委員会事務局として参加。歌碑の原書を桜井市の優れた文化資料として全国へ発信した。

⑮赤糸の小道関連イベント

●保田与重郎生誕100年記念イベントの開催

●広報誌「うるわしの桜井」の発行

桜井市内全戸配布　22,000部

第1回「設立総会関連記事」

第2回「桜井新市長と明日の桜井を語る」

第3回「新設・まちづくり部に聞く！」

毎年恒例の新春交流昼食会

以上のような実績をふまえて、今後の活動方針あるいは活動形態について、会員の皆様からのご意見を賜りたくお待ちしております。　うるわしの桜井をつくる会事務局一同

事務局だより

●常任理事会は12月6日(日)午後1時30分より「市民活動交流拠点」(まほろばセンター第１研修室）で行います。

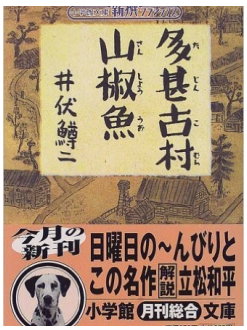
お知らせ

●河村喜太郎さん(当会常任理事)が「瑞宝単光章」を受章
社会福祉法人飛鳥学院理事長として、長年の社会福祉活動が評価され11月3日に「瑞宝単光章」を受章され、6日には皇居豊明殿で拝謁式に臨まれました。『子供の貧困や虐待が問題となる今こそ、「児童養護施設のような組織で子供の面倒を見る仕組みが重要になる」と考え、後進育成にも取り組む。77歳になったが、「引退」は考えていない。「まだまだやらないといけないことがたくさんある。一生、福祉に携わっていく」と、力強く語った。』
（産経新聞記事より）

●島岡將さん(当会常任理事)が「あしたのなら表彰」を受賞
NPO法人コミュニケーション研究センターの代表として、リカレント教育機関「コミュニティ・カレッジ　知の森」を運営し、奈良県中和地区における生涯教育の推進に積極的に取り組むとともに、同カレッジが立地する桜井市大福吉備地区の地域教育活動によるまちづくりにも寄与していることが評価され、第6回「あしたのなら表彰」を受賞されます。
表彰式は11月22日（日）午後1時に奈良県橿原文化会館にて行われます。

おふたりの栄えある受賞を心からお祝い申しあげますとともに、今後益々のご活躍、ご健勝をお祈りします。

●図書館友の会
11月の読書会は、『多甚古村(駐在日誌)』井伏鱒二著を読みます。甲田巡査の日録のかたちで綴られた「多甚古村」は、飄々とした著者独特の文体で、ジグザグした人間模様が生彩を放ちつつ展開される。
日　時　11月24日(火)午後1時30分から
場　所　まほろばセンター市民活動交流拠点
問い合わせ先　淺川 肇　TEL：090-1961-6345
友の会会員以外の参加も歓迎します。



編集後記　わたしは市民運動の起源を権力・権勢への貧乏人からの抵抗運動と心得ていて、1920年頃の大阪の人、逸見直造氏に関心を抱いていたところ、村嶋歸之という人物を知り、この人が現在の桜井市出身とのことで驚いた。桜井は古風なことが好きだと思っていたが、そうでもないようで、まだまだ、埋もれてしまった偉材がおられるような気がする。
　歴史は常に権力者のものである。反権力者を発掘・憲章することは市民運動側の一つのつとめでなければ……と。村嶋歸之さんを知るにつれ強く思っています。（あさ）

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142－5－203
淺川 肇
TEL090－1961－6345